

CIMAC EEC WG 国内対応委員会 第36回議事録案

1. 日時：2023年9月1日(金) 13:40～16:30 (Online 会議)

2. 出席者：〔名〕〔順不同，敬称略〕

主査 佐藤純一 (IHI 原動機)

委員の出席

氏名	所属	氏名	所属
仁木 洋一	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所	島田 一孝	(株)三井 E&S マシナリー
山本 寛一	川崎重工業(株)	小林 喜美頼	ヤンマーパワーテクノロジー(株)
伊藤 和久	(株)ジャパンエンジンコーポレーション	佐々木 慶典	ヤンマーパワーテクノロジー(株)
瀧本 崇弘	(株)三井 E&S DU	川上 雅由	日本内燃機関連合会
佐藤 宙基	(一財) 日本海事協会	上原 由美	日本内燃機関連合会

3. 配布資料

- 36-1 第35 EEC 国内対応委員会議事録案
- 36-2 CIMAC WG5 第75回国際会議
- 36-3 アジア規制動向
- 36-4 CIMAC GHG Strategy Group の紹介
- 36-5 EU 規制動向
- 36-6-1 36-6-2 陸用プラント規制動向 / 補足資料
- 36-7 北米規制動向
- 36-8 IMO と EU の規制動向
- 36-9 IMO MEPC80 概要_国交省
- 36-10 TTGasket 紹介
- 36-11 内陸水路規制動向
- 36-12 EU-ETS
- 36-13 FuelEU Maritime

4. 出席確認と自己紹介

出席確認を含め参加委員の自己紹介を行った後に、佐藤の司会にて次の議事を行った。

5. 第35回 EEC 国内対応委員会議事録

コメント無く承認された。

6. 2022 年 11 月に開催された WG5 国際会議報告（佐藤主査）

資料 36-2～36-10 に基づいて、以下報告を行った。

（1）アジアおよび日本の規制動向

日本の省エネ法の改定、インドネシのバイオ燃料、シンガポール港湾の脱炭素化について報告した。

（2）CIMAC GHG Strategy Group の紹介

2022 年の DNV の報告書を分析した。準備している新しいホワイトペーパーは、バイオ燃料、メタノール燃料、バッテリーである。

（3）EU 規制動向

In Service Monitoring の動向、NRE エンジンのマリニゼーション、メタノール燃料の安全基準について報告した。

（4）陸用プラント規制動向

Industrial Emissions Directive (IED) の動向について報告した。

（5）低負荷での IMO NO_x 規制

デンマーク、カナダの IMO への提案について報告した。

島田委員補足：MEPC80 でカナダが提案し、EUROMOT、フィンランド、日本などは技術的に難しい発言あり。ECA を設定している国は低負荷の規制を強化したく、提案文章で終わっている。NTE に 25% 負荷以下を含めるかの議論は残っている。

（6）北米規制動向

化石燃料火力発電所からの二酸化炭素に関する大気浄化法の排出制限案とガイドラインについて報告した。

（7）IMO と EU の動向

MEPC79、PPR10 の概要を報告した。

EU の動向として FuelEU maritime、European Sustainable shipping Forum の状況を報告した。

7. その他

（1）国交省 MEPC80 概要（島田委員）

国交省作成の MEPC80 のプレスリリース資料により概要の報告があった。

（2）CIMAC 内陸河川船舶 WG19 動向（WG19 国内対応委員会主査）

2023 年 6 月開催の WG19 について日内連情報 NO. 124 を基に報告があった。

今回の WG19 国際会議は 12 月の Marintec China2023 に合わせ開催予定である。

(3) 他 WG との協業

将来燃料について、他の WG との協業について、CIMAC 事務局の要請により検討する。

(4) WG5 のサブグループ活動

将来燃料サブグループの活動概要を報告した。

(5) 次回の WG5 国際会議は 2023 年 11 月 7 日と 8 日バーチャル会議、2024 年 3 月 4 日バーチャル会議
2024 年 6 月 11 日から 13 日にフランクフルトの VDMA で WG のコモン会議に合わせ対面での会議を
予定する

(6) 日内連からの連絡

- ・ CIMAC 事務局から EU で使用するコールフォーエビデンスに、WG5 で発行した CCU・CCS のホワイト
トペーパー使用可否の問があり、可の回答を行った。
- ・ ISO 8178 では将来燃料である水素、アンモニア燃料の排ガス量計測が規定されていないため
検討が開始された。
- ・ CIMAC 釜山大会の報告会を 12 月 4 日に神戸で開催予定であり、多くの参加をお願いします。

8. 次回の国内対応委員会の開催：

2024 年 3 月 11 日(月)から 3 月 15 日(金)の間のいずれか 1 日で、別途、開催日を調整する。

以上